

NBS 2020年度 秋季講演会のご案内【第一信】

残暑の中にも、朝夕はようやく秋の気配が感じられるようになりましたが、皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、今年度の【NBS 秋季講演会】は、本年 2 月に引き続き、講師に第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミストの熊野英生氏をお迎えし、『コロナ感染と日本経済(仮題)』と題して、ご講演いただきます。

‘コロナ自粛’の為、今春以降、生の講演会に参加する機会が減少していますが、今回の講演会はコロナ対策に基づく会場の設定や講演の運営等に留意し、直接にリアルな講演に接していただく場を設営いたしました。

尚、ご講演の概要は下記の案内を参照願います。

ご多用中とは存じますが、皆様の奮っての御参加をお待ち申し上げます。

2020年9月6日

NPO ビジネス・サポート
理事長 観野 福太郎

「NBS 秋季講演会 開催概要」

1. 日時 2020年10月22日(木) 講演会 15:00~17:00
*『コロナ対策』の関係で、今回は講演会のみを設定とさせていただきます。

2. 場所 霞が関 商工会館 6G会議室
(住所)千代田区霞が関 3丁目 4-2

3. 講演会 講師：熊野英生氏
(第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミスト)

演題：「コロナ感染と日本経済(仮題)」

4. 参加費 一般参加者 2,000円、 NBS 会員 1,000円

5. ご講演内容について

■ (主要項目)

- ・今後の経済動向の注目点
- ・変化する海外情勢
- ・ポスト安倍政権の運営課題
- ・日本経済の後遺症

■ 講師からのコメント

今後の景気は、10-12月にかけて政策効果が息切れして、冬ボーナスも減少することが下押し要因になる。製造業は、東アジアを中心とした回復の恩恵を受けて持ち直しが進むと見られる。米大統領選挙でトランプ大統領が変わることになると、米中貿易が変わるかもしれない。ポスト安倍政権は、感染対策を仕切り直し、さらに経済政策の立て直しを迫られるだろう。日本経済は、雇用、企業収益に大きな後遺症が残ることだろう。反面、政策面では自由度が少ない。良好だった2010年代後半に比べると、今後数年間はイバラの道になるだろう。

■ 講師のプロフィール

*熊野 英生 氏

(ご略歴)

1967年7月 山口県生まれ。横浜国立大学経済学部卒。

1990年 日本銀行入行。調査統計局、情報サービス局 勤務

2000年 第一生命経済研究所入社。2011年4月より首席エコノミスト。

2008年より日本FP協会評議員。2015年より日本FP協会理事。

・ご著書等:「なぜ日本の会社は生産性が低いのか」(文春新書) 2019年1月 発刊

その他「バブルは別の顔をしてやってくる」(日本経済新聞出版社)

「本当はどうなの? 日本経済—俗説を覆す64の視点」(日本経済新聞出版社) など多数。

ご専門は、金融政策、財政政策、為替市場、経済統計。

【申込方法】

・ご参加ご希望の方は、本メールの返信または下記のFAX宛にて、10月13日(火)までに、NBS事務局：橋本宛にご連絡をお願いいたします。

なお、領収書の必要な方は、領収書の宛名も併せてお知らせ願います。

ご参加ご希望の方は、以下の宛先にご連絡ください。

・[E-mail] 当メールの返信にて、ご連絡願います。

< hashimoto.13530.shizu.sakura@catv296.ne.jp >

・[Fax] 043-376-1415 NBS事務局 宛

以上